

中間評価（ステージゲート審査）結果

1. 研究課題名： 上皮構造からの細胞離脱による器官形成制御
2. 研究代表者： 川口 綾乃（岡山大学 大学院医歯薬学総合研究科 教授）
3. 中間評価（ステージゲート審査）コメント

本課題は、大脳発生において上皮構造から細胞が離脱し、移動していく際に働く実行役分子（Lzts1: Leucine zipper putative tumor suppressor 1）に着目し、Lzts1による細胞離脱制御メカニズムの解明と器官形成を制御する技術の確立を目的としている。

フェーズ1では、Lzts1の細胞内局在や発現細胞、神経中間前駆細胞の発現機構を明らかにし、脳の組織構造においてLzts1の機能が関与することを見出した。興味深い結果だが、統合的な理解に向けた説明が十分ではなかった。

フェーズ2では、Lzts1と細胞移動や脳形成との直接的な関係を明らかにするなど、Lzts1の機能解析に重点を置いた計画となっている。多岐にわたる計画となっているため、創発研究としての意義や目的を明確にし、焦点を絞った取り組みに注力いただきたい。

以上